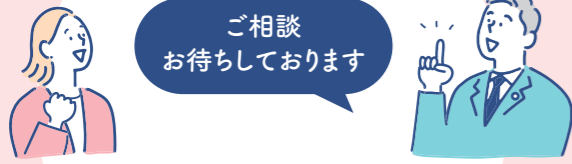


無料法律相談会のお知らせ

弁護士による無料の法律相談会を定期的を実施しております。ご相談は事前予約制です。医療福祉問題に限らずご相談が可能です。ぜひ多くの方にこの機会をご利用いただきたいと思っております。



4月14日
13:00~ 金

5月12日
13:00~ 金

深谷駅前法律事務所

けやき総合法律事務所

※相談終了時間は相談希望者の人数等によって異なります。

会場 熊谷生協病院

予約 熊谷生協病院 医療福祉相談室
松本・佐藤 ☎048-577-7625

退任のご挨拶

瀧井先生



半年間という短い間でしたが大変お世話になりました。主に入院と訪問診療を担当させていただき、「くまここ」でのイベント参加者、熊谷市の住民としての経験もさせていただきました。

仕事だけしていると患者さんを「病気を治すべき方」として考えてしまいがちです。しかし実際に熊谷で生活したり、患者さんのお宅を訪問したり、普段の暮らしをよく知る病院スタッフさんと仕事をする中で、患者さんは「たまたま病気とも付き合っている、熊谷で暮らしている方」という姿勢を学ぶことができました。医師として「患者さんの人生に誠実に向き合う・病気とうまく付き合うお手伝いをする」ことは決して簡単なことではありませんが、温かい生協病院のスタッフさんと一緒にだからこそできることが多く、大変やりがいを感じる日々でした。秋の黄金色の田んぼ・冬の雪を頂く山々など季節のうつろいを感じたり、熊谷のいいお店を巡ったり、聖天山・荻野吟子・熊谷空襲など熊谷の歴史に触れたり、一つ一つが大切な思い出です。いつかまた生協病院に赴任した暁には何卒よろしくお願いたします。

4月

外来診療のご案内



総合案内 ☎048-524-3841

	受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前 (8:15~11:30)	宮岡 揚野	鷺塚 平澤 田中	鷺塚 遠井	宮岡 鷺塚 岡本 田村	古市 田中 金子 大館 (第3) 吉本 (第1・2・4)	大館 (第1・4) 草野 (第2・3) 新井 (てんかん外来 第4)
	午後 (14:00~16:00) ※第2・3水曜日は 14:00~15:00	休診	休診	休診	田村	休診	
専門外来	午後 (14:00~16:00)	鷺塚 (頭痛・めまい 外来)		鷺塚 (もの忘れ・ 小刻み歩行外来)	岡本 (糖尿病外来)		
小児科	午前 (8:30~11:00) ※第1・3土曜日は 9:00~診療開始	小堀	新井	遠井	平澤	小堀	松本 (第1・3) 吉本 (第2・4)
	午後 (13:30~16:00)	休診	休診	休診	休診	休診	1歳6ヶ月 健診 (予約制) 3歳児健診 (予約制)
胃カ メラ	午前		○	○	○	○	
マンモ グラフィ	午前	○	○	○		○	

※担当医師は都合により変更することがあります。ご了承下さい。

在宅医療に関することは在宅医療支援センターまでお問い合わせください

☎048-577-7625

通院が困難な方の定期診察時に無料で個別送迎を行っております。通院にお困りの方はご相談ください。

●休診日/日曜日・祝祭日・土曜日午後

発熱やカゼ症状等のある患者様は、感染対策のため一般外来と時間・場所を分けて診療しておりますので、必ず事前に電話でご連絡頂きますようお願いいたします。

ほほえみ

2023年4月号(No.361)
デザイン：株式会社コア

発行 熊谷生協病院広報委員会
住所 〒360-0012 埼玉県熊谷市上之3854



熊谷生協病院

診察・訪問診療・入院・健診・デイケア
☎048-524-3841

熊谷生協ケアセンター

ケアマネージャー・訪問看護・訪問介護・小規模多機能居宅介護
☎048-524-0030

2023
4
No.361

熊谷生協病院
熊谷生協ケアセンターからの笑顔になるおたより



ほほえみ



2023年、熊谷生協病院は70周年を迎えます！



2023年度の事業所方針

70年の歴史の上に立ち、地域包括ケアと在宅医療介護連携の拠点として、誰もが居心地よく暮らし続けられるまちづくりの拠点として、さらなる飛躍を目指す

この病院だより「ほほえみ」も、この機会に紙面をリニューアルすることといたしました。今回は、改めて病院の歴史を振り返ってみたいと思います。

1953年8月1日

熊谷生協病院は、熊谷小児診療所として開設しました。満州大連病院で小児科医長をされていた小林盈蔵(みつぞう)先生が故郷の熊谷に引き上げてこられるのをきっかけに、小林所長・看護長・技師・事務の4人で始まりました。場所は小林所長の実家である松坂屋旅館の一部を使用してもらいました。同じ年にあった埼玉民医連結成大会もこの旅館で行われています。



午前は外来・午後は自転車で往診と忙しく医療を届けました。四畳半の待合室は連日患者さんで溢れました。診療所名物となったのが「青空待合室」です。懇意の大工さんが診療所前に夕涼みの縁台のようなものをしつらえてくれ、そこを待合代わりに使いました。玄関前は自転車も大量に止まり、パチンコ屋さん間違えて入ってきた人もいたそうです。

医療生協さいたま生活協同組合



熊谷生協病院、70年の歴史。



1961年8月1日

15床の有床診療所として北大通りに新築移転しました。群馬大学から研修を兼ねた医師の派遣も始まり、様々な専門外来が開始されました。保育器を設置している市内唯一の診療所で、紹介も多くあり、ベッドは満床が続きました。市内の公民館や患者宅での健康診断活動が開始されました。乳児健診は月2回、1回の定員は30人のところ60人を超える申し込みがくることもありました。



1967年9月

熊谷医療生活協同組合が発足しました。24時間患者の要望に応えるため、外来や往診に奮闘しました。

1973年10月15日

熊谷小児病院が55床で開設されました。県内唯一の小児科単科の病院であり、県北の「小児医療のセンター」として広く県内外から患者さんが来院されました。オープン年の患者数は、外来 1日275人、救急車 月69件、夜間休日受診者数 年8,000人というものでした。



1976年

障害児を持つ親の会「麦の会」が発足しました。親たち同士での会話の中で悩みを話し合ったのをきっかけに、医師・看護師が協力して始まり、毎年ハイキングや海水浴を実施。10年以上続くことになりました。

2000年10月1日

熊谷生協病院として新築移転。時代のニーズに合わせ療養病棟をもつ内科・小児科の病院として105床でオープンしました。訪問看護ステーションも展開し、医療と介護のネットワークづくりをすすめました。

2010年代以降

在宅医療に特に力を入れてきました。熊谷生協ケアセンターと一体となり、熊谷市内の在宅医療・介護の分野では大きな存在感を持つようになりました。

2017年

病院付属の介護複合施設「くまここ」を開設し、在宅生活を支えるための新規事業として「小規模多機能型居宅介護」を開始。

2018年

市内唯一の病児保育室を熊谷市からの委託をうけて開始しました。子育て世代が暮らしやすいまちづくりの一環として、行政からも大きく期待されています。

2022年度から

熊谷市から「在宅医療支援センター」を受託し、これまで以上に地域に必要とされる事業所になれるよう、努力しています。



熊谷生協ケアセンターだより

小多機くまこ日記

百寿のお祝い



小多機くまこでは、熊谷生協病院デイケアから10年近くご利用いただいている利用者様が100歳を迎えました。お誕生日当日ご家族様をお招きし、利用者様職員と全員でお祝いをしました。

「ハーモニカ宅急便」の牛腸さんによる演奏、小多機職員から「ああ人生に涙あり」「365歩のマーチ」をアカペラでプレゼントしました。

参加して下さった利用者様の中には、懐かしい昭和の名曲メロディーやハーモニカに「うれしい」と涙ぐんでいる方もいらっしゃいました。

また、100という数字のろうそくの立った大きなケーキを準備し、参加者みんなで分けて食べました。みんなで食べると、とてもおいしいと喜んでくださいました。

100歳を迎えた利用者様は、誰からも好かれ、職員やくまこ利用者様みんなを癒してくれる存在です。100歳といわずこれからも元気に長生きしてください。小多機くまこで、これからも一緒に楽しい時を過ごしていきますよね。

小多機くまこでは様々な行事を開催予定です、簡単にご紹介します！



春 ひな祭り、お花見(桜・ネモフィラ)、柏餅作り、いちご狩り

夏 納涼祭、七夕、梅ジュースと梅干作り

秋 運動会、敬老会、コスモス花見

冬 クリスマス会、初詣、みそ作り、節分豆まき

その他にも野菜の収穫やお誕生日会などの行事やレクリエーションを企画しています

